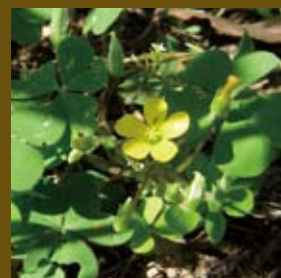
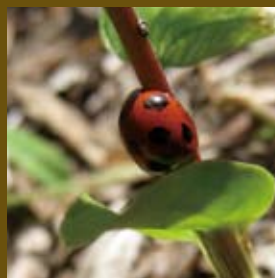


Bio通信

向陽小学校のビオトープを考える会



学校にビオトープがあるということ ...

始まりは2003年、卒業記念として向陽小学校にビオトープが誕生しました
 当時の6年生と保護者の方々は どんな思いでつくったのでしょうか
 ビオトープは「生きものの棲む場所」命の長さは生きものによって違います
 ミジンコの一生と木の一生、関わりのなさそうな生きものですが
 ミジンコはメダカに、メダカはヤゴに、ヤゴはトンボとなり鳥に食べられ、
 鳥は命が尽きると亡骸はバクテリアに分解され土に、土は木を育て水辺に流れこむと藻を育み
 藻はミジンコに食べられ、ミジンコは ... と、命は連鎖つな갑니다
 命をつなげ、みんながつながる！ そんな思いをビオトープに残したかったのではないのでしょうか

学校にビオトープがあるということ ...

私たちはここに命を学ぶ「場」を期待したいと思います
 2011年4月に向陽小学校のビオトープはプールの横へ移転しました
 新しい土に鎮守の森の木を植え、池と田んぼからなるビオトープ

まさに 乙訓の里地の縮図です

ビオトープに込めた思いを受け継いで
 生きものの棲む場所をみんなで育ててゆきましょう

このビオトープの名前は

「フレンズランド」

鎮守の森から
 黒米づくり

P.3 P.2~3

P4

いきなりクイズ

みんなで生物多様性調査

お知らせ

編集後記

黒米づくり

文・向陽小学校のビオトープを考える会

上田 昌弘

米を作るのは

大変だ!!

米という字を分解すると八十八になり、八十八の手間をかけたといわれます。

ビオトープの水田では手間のからない黒米を植え、無農薬で化学肥料を使わない有機栽培



培をしています。指導者は上植野町の村井隆男さんです。

米作りは3月の土づくりから始まります。油粕を混ぜて発酵させ、EM菌という良い土にしてくれる微生物を入れます。これを繰り返して5月に耕運し、水を入れてかき混ぜ土を平らにしますが、水道水には塩素が入っているので直接田んぼに入れるとEM菌が死にます。そのため一度池に入れて塩素を抜いて田んぼに入れます。こうして水を入れた田んぼができあがり、6月には田植をしました。それから土用のころいったん水をきり、稲穂が出たらまた池の水をいれ、刈り取りの1週間前まで水張りを続けます。そのあいだ草取りをし、9月中旬に稲刈り、3週間天日干をしたあと脱穀、稲わらが混ざっているためふるいにかけて籾だけにし、風を使い実が入っている籾を選り分け、籾摺りをして玄米にします。それを精米してはじめて食べられます。

*土用(どよう)
二十四節気の前日までの18日間をいう。
一般的に夏の土用は一番暑い7月20日頃から立秋の前日まで。



※写真

上段右～左

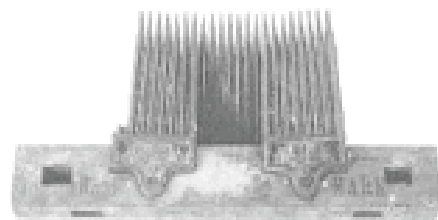
6月の田植え、9月のイネかりとはざかけ

下段右～

10月の脱穀、11月のデニスボールで籾すり

★向日市まつり / ボーイスカウトのコーナーでも籾すり体験で手伝ってもらいました。ご協力ありがとうございました!





スゴい発明

千歯こぎ

10月8日向日市文化資料館から千歯こぎを借り、ビオトープの田んぼで育てた黒米の脱穀をしました。

千歯こぎはすごい発明です。稲作は縄文時代の終わり頃に伝わりましたが、その頃の人口は約20万人。千歯こぎが発明されたのは2200年後の元禄時代、人口は約2800万人に増えていましたし、そして、収穫量はその何倍にも増えていました。

それまでの脱穀の方法は1本ずつ手でしごくか、竹の箸ではさんで稲穂から籾をはがす箸こぎでした。一日で出来るのはせいぜい30把、240株ぐらい、それが1時間で45把も出来るようになりました。それまで脱穀の仕事は村の互助精神から末亡人が優先していました。そのため千歯こぎは後家倒しとも後家殺しとも言われ、大正時代に足踏み式脱穀機が発明されるまで300年間使われました。

鎮守の森から

混群

縄文時代、京都盆地は雨が降ると一面水浸しになりました。猟や行き来には、山の重なりで自分の位置を知る「山当て」の方法が取られ、乙訓郡では向日神社のある山が当て山になり、間違えると死につながりかねず、向日神社のある山が聖地になりました。

冬から春にかけて向日神社の鎮守の森にシジュウガラやエナガ、メジロなどが虫や花の蜜に誘われて、違う種同士が群れてやってきます。これを混群と言います。シジュウガラはツツピーツツピー、時にはジャラララと鳴きながら木々の間を忙しげに移動します。エナガはジュリジュリ…と鳴き、尾が柄のように長いから名づけられました。背は白と黒とピンクで、いずれも虫や虫の卵、メジロは目の周りに白いアイリングがありキュルキュルキュル…と鳴き、虫のほかに椿など花の蜜がお目当てです。

シジュウガラ

体長15センチ

スズメくらい

なき声：ツツピー…

ジャラララ…

ほほとおなかは白いが

黒いネクタイを締めている

背なかは青みがかった灰色

緑の多い公園や市街地にもいる



メジロ

体長12センチ

スズメより小さい

なき声：チー…

抹茶色の愛らしいや鳥

目のまわりとおなかの白い

ツバキやウメ、サクラなど

花の蜜が大好物



エナガ

体長13.5センチ

スズメくらいだが

尾羽を除くとかなり小さい

なき声：ジュリ、ジュリリ…

林、草地、河原と

はば広い環境に適応

特にアブラムシが好物



絵 大林 礼子・文 上田 昌弘

いきなりクイズ



こたえがわかったら
応募しよう！

このチョウの
なまえは？

☆ヒント

林とその近くで見かけます。羽のオモテはきれいなブルーのライン、ウラは全体がまるで木の皮のようだよ。

ユリのなかまにたまごを産みつける。チョウになると食べ物^{じゅえき}は樹液^{じゅえき}やくだもの^{じゅえき}の汁^{じゅえき}、お花^{はな}じゃないよ。調べてね♡

◎応募について

名前、学年、連絡先と創刊号／答え〇〇〇〇〇を紙に書き
(書式自由)職員室前「フレンズランドポスト」へ投函して
ください。正解者の中から3名に鎮守の森の会 上田 雅二さん
特製「ふらトンボ」をプレゼント！ 応募してね☆

*正解は次の号で発表

お知らせ

焼きイモ大会

日時：平成23年12月3日(土)
午前9時～午後1時
場所：向陽小学校小グラウンド
対象：向陽小学校PTA会員と児童
主催：PTA・こよう「たけのこ隊」
持ち物：さつまいも、軍手、うちわ、水筒など
*小学校周辺から集めた落ち葉や枝と薪で
サツマイモを焼いてみんなで食べよう。
申込要(申込書は近日中に小学校から配布予定)

収穫感謝祭

日時：平成23年12月10日(土)
午前9時～午後1時
場所：向陽小学校ビオトープ「フレンズランド」
主催：向陽小学校のビオトープを考える会・PTA
内容：9時～スライドでつづる4年間の活動
11時～収穫した黒米で餅つき
対象：興味のある方
持ち物：水筒、お皿、おはしなど
*申込不要

みんなで生物多様性調査



◎参加のしかた

まずは、ホームページから「生きものみつけ
手帳」や「チラシ」をダウンロード、もしくは
メールや電話で生きものみつけ事務局へ問い
合せ、調査対象種の情報を手に入れる。
見つけた生きもの名前・日付・場所を書いて
ホームページまたはファックスにて生きもの
みつけ事務局に情報を送る。

くわしくは

・問合せ／「生きものみつけ」事務局

受付時間 平日 10:00~17:30

TEL 03-5643-6275 03-5643-6250

E-MAIL info@mikke.go.jp

パソコン <http://www.mikke.go.jp/>

携帯電話 <http://m.mikke.go.jp/>

編集後記

秋も深まり紅葉が美しい季節となりました。

フレンズランドのハナミズキやヤマボウシそれに南端にある
ニシギギも赤く染まりいよいよ紅葉黄葉も本番です。ニシギ
ギの可愛い赤い実が黒い帽子からのぞいていますよ。フレン
ズランドに来られたら秋見つけも楽しいかもしれません。
それとは裏腹にガランと静まりかえる草地に田んぼと水辺、
枯れ草色は樹木よりひと足先に冬支度が進んでいるという
ことでしょう... そのうち、樹木も葉を落としモノトーン
の寒々しい景色に追いつきます。

でも、その寂しい景色も、目をこらしてみると... ビオト
ープは面白い！ 冬は生きものの力強さや命の愛おしさを目の
当たりにできる素晴らしい季節だと思います。

Bio通信は、そんな身近な自然とビオトープでの活動を
紹介し、生きものを通して子どもたちに豊かな感性と思いや
りの心を育むこと、また、地域の自然を理解することを目
的とするお便りです。

ご家族全員で楽しめる内容に
したいと思いますので、どうぞ
よろしくお願いいたします。

☆Bio通信に関するお問合わせ、ご意見
ご感想などございましたらフレンズ
ランドポストへお寄せください。

発行 向陽小学校のビオトープを考える会
2011.11
編集 玉井啓子